

2020 年度

指定居宅介護支援事業  
事業計画書

(案)

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

## 1. 中期経営計画(2018年度～2022年度)

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が事業所に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実
- II 中期基本方針
  - 1 事業者として、利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供
  - 2 各種制度の意思・方向性を的確に見極め、長期的視野に立った、安定した経営の構築
  - 3 職員の資質向上と人材の育成・確保
  - 4 「第三者評価」「情報公表」等を通じた、透明性確保への対応
  - 5 新たな福祉ニーズに対応する事業展開
- III 中期経営計画の内容
  - 1) サービス向上への取り組み
    - ①新たな福祉ニーズに対応する事業展開の推進
    - ②利用者様の人権配慮・プライバシー保護に関する研修を実施するとともに、身体拘束・虐待ゼロ等に向けた取り組みを推進する。
    - ③利用者満足度調査、個別面談、懇談会等を実施し、定期的な利用者満足の聴取・分析・分析結果の評価を行ない、サービスの質の向上につなげていく。
    - ④苦情解決の仕組みの周知など、利用者様・ご家族様が意見を述べやすい環境整備を行ない、結果について迅速に対応・公表できるような体制づくりを実施する。
  - 2) 福祉サービスの質の確保
    - ①自己評価・第三者評価を実施し、評価結果の分析と課題解決を職員参画のもと行なっていく。
    - ②個々のサービスについて標準的な実施方法を検討し、文書化するとともに、定期的な整備・更新を実施する。
    - ③ケース記録の整備・保管方法を検討し、職員間で情報共有できるシステムづくりを確立する。
    - ④内部研修会を定期的実施し、現任職員の介護技術のチェックを行い、現任職員についてはスキルアップを図るため個別研修計画を策定する。また現任職員の定期的な技術指導研修により職員のレベルの平準化を図る
  - 3) 地域との交流と連携
    - ①地域の関係機関・団体等と連携をはかるとともに、利用者様にも積極的に関係機関等の情報提供ができる仕組みをつくる。  
退院時の新規利用者の獲得、緊急入院が必要な場合の医療機関紹介等により質の高いサービスを提供する。医療機関等のネットワークによる退院時加算、入院時加算等により経営基盤の確立を図る。
    - ②介護研修・相談会の実施、災害時の支援協力体制など事業所の持つ機能を地域に提供できるネットワークづくりを構築する。
    - ③地域の福祉ニーズを把握し、それに応える活動を行なう。
  - 4) ボランティア
    - ①ボランティア受入に対する基本姿勢を明確にし、受入方針の明文化、マニュアル作成、研修会・講座の開催等を実施する。
  - 5) 安全管理・リスクマネジメント
    - ①感染症・食中毒・介護事故・交通事故撲滅に向けた対策を具体的に検討し、実践する。
    - ②介護事故の未然回避に向けたマニュアル・規程の整備・更新を行なうとともに、適切な周知・活用方法の検討・実践を行なう。
    - ③食料の適正備蓄、施設内什器の転倒防止策を検討し、災害時の対策に努める。
    - ④災害時の避難誘導體制の構築とマニュアルの整備。
  - 6) 広報活動の充実
    - ①事業所の広報誌を作成し地域に配布するとともに、インターネット（HP）を活用した迅速かつ適切な広報体制の充実を図る。
  - 7) 経営委員会の開催
    - ①課題・問題発生時のみならず、現状分析と将来ビジョンを検討する経営委員会の構築を行なう。
  - 8) 人材の確保・育成
    - ①将来の福祉人材育成に向け実習生の受入を積極的に行なうとともに、指導者の育成にも力を注ぐ。
    - ②職員の自己目標をもとに上司との面談の充実を目指す。
    - ③健康管理、メンタルヘルス対策の充実に努めるとともに、職員交流の機会を増やすなど、働きやすい職場環境づくりを目指す。
  - 9) 経営基盤充実への取り組み

- ①事業所の定員・稼働状況を都度分析し、適正な収入確保に向けた取り組みを実施する。  
主任介護支援専門員を中心に、質の高いケアプラン作成を目指すと同時に事業所評価加算により安定した介護報酬収入の加算を得る。
- ②的確なコスト分析を行うとともに、全職員に具体的に周知しコスト意識高揚に向けた仕組みを作成する。また、経費節減に向けた対策を事業所ごとに構築し、取り組みを行なう。
- ③収支状況を職員一人ひとりが把握でき、利用者・家族へも積極的に情報開示できるシステムを構築し、財務の透明性確保に努めていく。
- ④IT化の推進など人的以外で対応できる部分に積極的に経営資源を投入することで、経費節減に取り組む。

## 2. 基本方針

居宅介護支援事業者並びに介護支援専門員は、要介護認定調査、居宅サービス計画作成及び居宅介護支援など、高齢者が居宅サービスを利用するうえでもっとも重要な役割を担っている。この状況下、今年度の事業について下記の通り計画する。

- (1) 介護保険法における指定居宅介護支援事業は、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、その利用者が可能な限りその居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るように相談業務を配慮して行う。
- (2) 居宅介護支援の提供にあたっては、利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の選択に基づき、常に利用者の立場にたって、適切な保険医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に不当に偏ることのなく公正中立な立場でサービスの調整を行う。
- (3) 事業の実施にあたっては、関係市区町村、地域の保険医療サービス及び福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。
- (4) 居宅サービス計画作成後、利用者及びその家族と連絡を密接にとり、経過の把握に努めるほか、居宅サービス計画の目標に沿ってサービスが提供されるよう指定居宅サービス事業者等との連絡調整を行う。  
また、利用者の状況について定期的に再評価を行い、状況の変化等に応じて居宅サービス計画の変更の支援、要介護認定区分変更申請の支援等の必要な対応を行う。
- (5) 区市町村からの要介護認定調査受託業務並びに、地域包括支援センターからの介護予防支援ケアプラン受託業務を行う。

## 3. 本年度の重点施策

介護支援専門員の資質向上を重視し、居宅サービス計画を幅広い情報のもとに作成するため、又、的確な居宅介護支援を行うため、重点施策を次の通り策定した。

- (1) 総合的な居宅サービス計画を作成する上で必要な幅広い情報を収集するため、
  - ①居宅支援事業者連絡会・サービス担当者会議・地域の指定居宅支援事業者交流会に参加し、介護支援専門員の連絡調整及び情報収集に努める。
  - ②介護保険事業者連絡会に参加し、サービス事業者の事業内容等（介護保険対象外のサービス事業内容も含む）の把握に努める。  
また、居宅サービス事業者をはじめ、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、関係保健医療福祉サービス事業者と密接に連絡を取り、サービス提供状況等の把握に努める。
  - ③東京都・東社協・国保連等が開催する研修に積極的に参加し、介護保険制度に関する内容及び動向等を把握し実務に反映させる。
- (2) 利用者及びその家族に満足していただく居宅サービス計画を作成するため、
  - ①介護支援専門員は利用者及びその家族を訪問し面接を行い、利用者の心身状態及び生活状況を充分把握した上で、利用者を支援するにあたり解決しなければならない課題の把握及び分析に努める。
  - ②地域の居宅サービス事業者毎の事業内容及び特徴を詳しく説明し、利用者及びその家族の希望に添ったより良いサービスが提供できるよう努める。
  - ③居宅サービス計画書を作成した後、居宅サービス計画で立てた目標に沿ってサービスが提供されるよう、居宅サービス事業者との連絡調整を行う。
  - ④実際に提供されているサービスが、利用者及びその家族の意向に沿ったものであるよう連絡を取り状況把握に努める。
  - ⑤要介護度等の変化及びサービス受給希望の変更等の相談があった場合、利用者及びその家族の意向により随時対応する。
- (3) 一人あたりのケアプラン担当件数を月間 35 件とし、年間収入 39,600,000 円を目標、また受託事業

である介護予防ケアプラン・認定調査を積極的に受託し、年間 2,950,000 円の収入を目標とする。

#### 4. 実施内容

- (1) 福生市および他地域より委託される要介護認定等に関わる訪問調査を円滑かつ中立公平な立場で行う。
- (2) 利用者が希望する場合は要介護認定等の申請を利用者に代わって行う。
- (3) 利用者に対し居宅サービス計画書、介護予防居宅サービス計画書を作成し、その利用者の居宅介護支援、介護予防を的確に行う。
- (4) 各種会議・各部署の連絡会に参加し、情報収集及び連絡調整を行い、また、東京都・東社協・国保連等が開催する研修に積極的に参加し、介護保険制度の内容及び動向等の把握に努める。

#### 5. 職員配置、実施地域、管理運営

##### (1) 職員配置

( ) は内数で兼務

職名	当センター職員配置人数と氏名 (資格)	
センター長	1	佐々木 和仁
管理者	1	新橋 和枝 (介護支援専門員等)
介護支援専門員	6 (1)	新橋 和枝 (主任介護支援専門員、管理者兼務) 中川 祥子 (主任介護支援専門員) 大谷 真澄 (介護支援専門員) 鈴木 俊哉 (介護支援専門員) 山下 晶子 (介護支援専門員) 下田 政勝 (介護支援専門員)

人件費予算額：36,348,000 円

##### (2) 実施地域

居宅介護支援事業を行う実施地域は、原則として福生市・羽村市全域及びあきる野市の二宮・草花地区とする。

##### (3) 管理運営

###### ① 職員の基本理念

- ・ 介護保険制度の下、より良いサービスの提供を目的としての精神を強く抱き自己啓発に努める。
- ・ 利用者の安全確保に常に細心の注意を払う。
- ・ 受容と思いやりの精神をもって利用者に接する。
- ・ 利用者の満足感・幸福感を常に念頭に置き、利用者に接する。
- ・ 利用者の残存機能の維持・向上をもたらすよう、考えた介助をする。
- ・ 利用者が心の拘束を感じてしまうことのないよう、気配りをする。

###### ② 職員健康管理

職員は常に健康保持に努め、自己管理を怠らず、利用者処遇及び運営に支障をきたさぬよう日頃より規則正しい生活を心掛ける。

- ① 全職員を対象とした年 2 回の定期健康診断を実施し、産業医と連携を図る。  
(胸部レントゲン・尿一般・心電図・聴力・血液検査及び必要とする項目)

###### ③ 職員福利厚生

- ① 全職員を対象として研修旅行を年 1 回実施し福祉職員としての知識・見聞を広め、職員相互の親睦を深める。
- ② 職員親睦会を年 1 回実施する。
- ③ 職員会行事には必要に応じて補助を行う。
- ④ 職員環境改善に努め、制服や必要と認められる器具の整備を行い、常に明るく働きやすい快適な職場環境に努める。
- ⑤ 予算額 112,000 円

###### ④ 職員研修

東京都・全社協・東社協や各種団体の主催する研修・会議には、積極的に参加し知識・技術を意欲的に取り入れ日常業務に役立てる。法令を遵守した実践と質の向上に向けた会議や研修など。

4月	福生市事業者連絡会
	他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同事例検討会、研修会を実施
	地域包括支援センター主催の「事例検討会」等への参加
	福生市主任介護支援専門員連絡会
	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有） / 外部研修
5月	福生市介護保険事業者連絡会（総会・研修会）
	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有） / 外部研修
6月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有）
	地域包括支援センター主催の「事例検討会」等への参加
	福生市主任介護支援専門員連絡会 / 外部研修
7月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有）
	他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同事例検討会、研修会を実施 / 外部研修
8月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有）
	地域包括支援センター主催の「事例検討会」等への参加
	福生市主任介護支援専門員連絡会
	東京都福祉保健財団研修会 / 福生市事業者連絡会 / 外部研修
9月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有）
	東京都介護支援専門員研究協議会研修 / 外部研修
10月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有）
	他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同事例検討会、研修会を実施
	地域包括支援センター主催の「事例検討会」等への参加
	福生市主任介護支援専門員連絡会 / 外部研修
11月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有） / 外部研修
12月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有）
	地域包括支援センター主催の「事例検討会」等への参加
	福生市主任介護支援専門員連絡会 / 外部研修
1月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有）
	他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同事例検討会、研修会を実施
	福生市事業者連絡会 / 外部研修
2月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有）
	地域包括支援センター主催の「事例検討会」等への参加
	福生市主任介護支援専門員連絡会 / 外部研修
3月	事業者内部研修（利用者・事例検討・情報共有）
	羽村市認定調査員研修・福生市認定調査員研修 / 外部研修
備考	*利用者の情報やサービス提供上の留意事項などの伝達等を目的とした会議を定期的に行う（週1回以上） 介護支援専門員研修Ⅱ/主任介護支援専門員研修/更新研修など

研修研究費予算額：112,000円

⑤施設設備改善及び備品購入計画

施設設備改善及び備品購入計画について計画なし。

第2サンシャインビラでの施設管理費用は按分することとする。